



「人間的に成長」3倍 アンケート回答数も激増

人文学部 2013 年度卒業生

2014 年 3 月に卒業した人文学部の 2013 年度卒業生のアンケートがまとまった。注目されるのは、「入学当初に比べ人間的に大きく成長できたか」との設問に対し、全体の 97.6%が「成長した」と回答、前年度の 32.4%の 3 倍増となった。前年度は、「成長してきたと思う」が全体の 45.8%で最も多かった。



回答数が増加したのも 13 年度の特徴で、人文コミュニケーション学科と社会科学科の合計が前年度は、268 人だったのに対し 13 年度は 340 人で、26.9%増となった。

「柔軟性」、「状況把握力」、「専門知識」など 15 項目に応じて、入学後から卒業までの自分の成長を問うアンケート結果は、「主体性」の分野で前年度の 95.5%から 13 年度は 92.0%へ 3.5 ポイント落ちている。この傾向は、「(他人に) 働きかける力」、「実行力」、「課題発見能力」、「計画力」、「創造力」、「発信力」、「読解力」などでも一緒に、前年度に比べていずれも数ポイント落ちている。



唯一アップしたのが「ストレス・コントロール力」で、12 年度の 84.7%から 13 年度は 85.0%へとアップした。

「入学当初に比べて人間的に大きく成長できたか」との設問には、12 年度は、「人間的に成長した」(32.4%)、「成長してきたと思う」(45.8%)だった。

成長に役立った要因としては、トップが、「ゼミ、授業等での学生主体のグループワーク」(55.8%)、次いで「卒業研究」(42.6%)、「部・サークル活動」(41.4%)と続いている。

13 年度に新たに加わった学部のディプロマポリシーの体得の設問については、「身についた」と回答したのが、「a.幅広い、教養、専門知識」(91.4%)、「b.論理的・総合的に考える」(89.4%)、「c.自分を高める力、自律的、主体的にかかわる」(88.2%)、「d.コミュニケーション能力と課題解決能力」(84.4%)となっている。

(了)

